



洞爺湖マラソン

過去最多の5300人 薫風の洞爺湖を疾走

過

去最多の5,360人が参加して、洞爺湖マラソン2009へ主催洞爺湖町、壮瞥町、室蘭陸上競技協会など）が5月24日開かれ、ランナーたちは、春を告げる洞爺湖畔を気持ちよさそうに快走しました。

今年は、昨年を参加総数で197人、フルマラソンに限ると302人も上回る過去最多の出場者で、道外からは、遠くは九州、沖縄などから600人が出場。最高齢者は、男子が89歳の後藤武夫さん（恵庭走ろう会）で、女子は75歳の小野幸子さん（もみじ台走友会・札幌市）。

当日は、朝方薄曇っていた空も、レース開始時には青空が広がる好天となり、ランナーは、午前8時50分の親子2を皮切りに、フルマラソン、5、10のそれぞれのコースをさつそうと駆け抜けていきました。

2 コースには、昨年続いて橋本聖子参議院議員、堀井学道議会議員、スキージャンプの金メダリスト船木和喜さんが招待され、子どもたちといっしょにランニングを楽しみました。

マラソンの男子総合1位には、東京都の斉藤太一さん（だせわクラブ）が、初出場で初優勝を

飾りました。同女子は千葉県藤澤舞さん（札幌市役所）が、太田尚子さんの9連覇を阻止し初優勝を飾りました。

沿道では、虻田、洞爺高生や地域住民らが、給水などのボラ

世界的彫刻家安田侃さん当町を訪問 「再生」の原型を寄贈

美 町市出身で、洞爺湖畔にある彫刻「再生」の作者である世界的彫刻家安田侃さん「イタリア在住」が、5月18日観光情報センター内の「北海道教員保養所資料展示コーナー」を訪れ、同作品の原型を元患者らの会へ寄贈しました。

77年の有珠山噴火で閉鎖された同保養所の記念に、元患者らの会「ゆかりの会」が安田さんの



原型を寄贈した安田侃さん(右)とゆかりの会の三瓶修さん

ンティアを行い、疾走するランナー一人ひとりに、激励の声援と拍手を送り続けました。

そのほか、商工会などが露天を開き、にぎわいを見せ、会場産品をPRしました。

に作品を依頼し、昭和58年、59年と続けて建物跡地と湖畔に二体一対とし再生を設置。

今回の寄贈は、3月に展示コーナーがオープンしたことがきっかけとなり、製作する際の試作品ともいえる高さ約30、幅約25の原型の寄贈が実現しました。

ゆかりの会元副会長の三瓶修さんは「素晴らしいものを寄贈していただきありがとうございます。町民や観光客などたくさんの人に見てもらいたい」と喜んでいました。

5月3日には、展示コーナーにある同保養所の模型を寄贈した函館工業高校の卒業生が訪れ、自ら製作した模型の展示を見て「こんな立派なところ展示してもらいうれしいです」と感激していました。